

立川市へのパラシュート落下について（要請）

令和2年7月2日、北関東防衛局から「本日、午後2時10分頃、横田基地において人員降下訓練を行っていた落下傘兵が、降下中にメインパラシュートを切り離し、予備パラシュートを使用して安全に着地した。パラシュートの備品2つが立川市で発見された。」との情報が提供された。

横田基地においては、これまでもパラシュートの落下事故が複数発生しており、その都度、再発防止等を要請してきた。基地外へのパラシュートの落下は、一步間違えれば人命に関わる重大な事故につながりかねず、多くの住民に不安を与えるものである。

本年6月16日のCV-22オスプレイの部品遺失事故について、事故の原因究明と再発防止等を要請するとともに、人員降下訓練について、基地外に影響を及ぼさないよう徹底した安全対策を講ずることや、横田基地所属以外の航空機による訓練等を基地周辺で実施しないこと等を要請したにもかかわらず、再びこうした事態が発生したことは、極めて遺憾である。

貴職においてはこのような状況を十分認識され、原因究明を行い、再発防止と安全確保に努めるよう、次のとおり要請する。

記

- 1 今回の基地外へのパラシュート落下の原因究明と、他の落下物の有無の確認を速やかに行うとともに、再発防止策を講ずるまでは、同様の訓練は行わないこと。
- 2 訓練を再開する場合は、安全確保の更なる徹底を図ること。
- 3 以上に関する情報を関係自治体に速やかに提供すること。

令和2年7月6日

在日米軍横田基地第374空輸航空団司令官

アンドリュー J. キャンベル大佐 殿

あきる野市長 村 木 英 幸

